

樹形柱のモチーフとなった
平八幡神社の大サワラ



開館式で行われた新月地区
打囃子団体による合同演奏の様子



設計担当者紹介

設計担当



(株)久慈設計 仙台支社 建築設計部 担当部長
一級建築士 **伊藤 真一**

構造設計担当



(株)久慈設計 構造設計部 担当部長
構造設計 一級建築士 **菅原 昭一**

伊藤： 最初に新月公民館移転新築工事に関わった方々に感謝申し上げます。旧新月公民館は築50年以上経過し、老朽化が著しく地域のコミュニティや生涯学習の拠点施設としての利用が難しくなり、新月中学校敷地内に移転新築することになりました。設計業務を行う際は、建設委員会の会議に参加させていただき、皆様の意見を設計に反映させていただきました。建物正面2本の樹形柱は、平八幡神社の大サワラをイメージし新月地区らしさを表現しています。また、樹形柱を囲むフレームは家形のシルエットをしており、地域の方々が親しみやすく、ホールからの開放感を感じられるように考えました。これからの新月地区のシンボルとして、新月公民館が親しまれ利用されることを願っております。

菅原： ホール・事務室・研修室等の事務所棟と体育館棟は形状、高さ、スパン割りが異なるため、構造的に2棟に分けています。体育館棟は緩勾配の切妻屋根で、一般的な山形ラーメン構造では梁・柱が大きくなるため、梁に鋼管の下弦材を組み合わせた菱形の張弦梁を短間隔に配置し、梁サイズを抑えた軽快な屋根構造としています。張弦梁は自己釣合構造で下部構造への負担が少ないため柱サイズも小さくなり、柱型の無いフラットな木仕上の内壁とすることができ、経済的で意匠性にも寄与した構造設計としました。

気仙沼市様、施工者様、関係の皆様大変お世話になりました。ありがとうございました。

Always with a SMILE!

地域文化を醸成する拠点として

特集 宮城県気仙沼市 新月公民館

2021
7月号

Vol.196



久慈設計は2021年6月5日で
創立90周年を迎えました



Always with a SMILE!

発行責任者 株式会社 久慈設計
住所 岩手県盛岡市紺屋町3-11
TEL 019-624-2020



▶ 久慈設計 公式HP
トップページ



▶ 久慈設計 公式HP
リクルートページ



「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」

久慈設計は「Fukushima with a SMILE!」を通じて福島県の魅力を発信していきます。

